



ご当地 **大坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.646

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

June
2023
令和5年

6



Contents

デンタルアイ	1
小林 不律	
理事会報告	3
会務日誌	4
学術委員会だより	6
介護保険委員会だより	7
医療管理委員会だより	9
専門学校だより	12

表紙写真について

羊蹄山（蝦夷富士）

標高1,898m富士山よりも完全な円錐形の成層火山です。

羊蹄山があるのはニセコエリアで、近年は海外からの観光客が激増しており、宿も高めになってしまいました。

梅雨のない北海道は、今頃の季節が日も長く一番巡っていて清々しく楽しく過ごせます。

（社）水戸市歯科医師会 加藤 毅

役員退任にあたり 私に関わったこと



会計担当常務
小林 不 律

本月の原稿は本来、私の担当ではないのですが、6月定時代議員会をもって退任することになりました。今月本稿を掲載させていただきますのはひとえに渡辺専務理事のお計らいによるものです。

私の県歯役員は約26年前に突然、当時の地区会長であった小野寺宜夫先生より推薦を頂き、学校歯科担当理事となった経緯があります。それ以前は県歯学術委員の一員に過ぎなかった私は県歯理事のすべき役割も全く知らず、ただただ驚天動地の気分がありました。当時、旧会館の改築・建設の議論の真っ只中にあり、初めて望んだ代議員会の火花を散らすような議論に震えていたことを覚えております。学校歯科担当理事としても、当初は全て委員会の委員から多くのことを学ばせていただきました。その中で初心者の方に何ができるか自問し、当時充て職として就任した県の不登校対策委員の仕事の中から児童虐待に取り組むことを自分の命題として捉え、歯科医としての「児童虐待早期発見マニュアル」を作成することに至り、毎日新聞茨城版にも記事として取り上げて頂きました。後にその訂版も作成しましたが、係る法律の改正等を含んだ更なる改定版は計画途中となったことが心残りです。また理事就任後2年で茨城

県体育協会（現茨城スポーツ協会）のスポーツ医・科学委員会の一員として今日まで至っており、令和元年の「いばらき国体」開催に向けての準備と県実行委員としてスポーツ歯学普及に尽力した経緯がありました（後述する会計担当後）。学校歯科担当理事を2期4年勤めさせていただきましたが、会計担当常務として全く別の職務に就くことになりました。折しも念願の新会館建設については、曙町にあった歯科衛生士科の土地を売却し、そして競売に出ていた隣接地の購入を経て、平成18年に現在の会館建設竣工にこぎつけました。

これで穏やかな会務運営となるかと思いましたが、当時、厚労省から本県に赴任された鳥山先生から、公益法人制度改革が始まるので、本県歯は是非とも公益法人に移行すべきとのアドバイスを受け、その時は直ぐに「その気」になり、理事会としてもその方針を進める事となったため、個人的に新公益法人法の勉強を始め、財務三原則など初めて聞くことに戸惑いながら、理事会の賛同を得て地区一般社団法人化案、共済制度の変更・シニア共済新設案、新定款案作成などに多くの時間を費やしたことを覚えています。最終的に代議員会の承認後、公益等認定委員会の承認も得て新公益社団法人移行

が叶うことになりました。

しかしその翌年、思いもよらない事態が起きました。いわゆる口腔センター補助金問題です。結果的には10年間に遡り誤っていた申請書類を訂正し、更に記者会見を経て解決に漕ぎ着けました。

令和元年には理事職を辞し、監事として1期を過ぎしましたが、2年前の波乱に満ちた代議員会後には再度会計担当に返り咲くことになりました、しかし今年3月に緊急入院して判明した健康上の理由により次期役員には立候補いたしませんでした。

現在の本会の運営について会計の立場から今

後の収支について、会員の平均年齢の上昇、終身会員の増加等、懸念する材料はあると思いますが、賢明なる役員・会員の皆様が良き方向に導いて頂けるものと確信しております。

振り返れば鈴木会長、志賀会長、森永会長、現榊会長の4人の会長の指導の下、多くの役員諸兄、各委員会委員、事務職員の全ての方々によって前述の一助を担わせて頂いたことは言うまでもありません。

特に普段は黒子として会務を支えて頂いている事務職員の皆様には重ねてお礼の言葉を述べさせていただきます。本当にありがとうございました。

事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷1504-4	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市磯子区中原2-1-19 1F	TEL:045-770-4182
前橋支店	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡上堂支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
盛岡本宮支店	盛岡市本宮6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770
つくば営業所	つくば市花室940-6	TEL:029-863-0720
仙台支店	仙台市若林区荒井5-7-6	TEL:022-794-7066



株式会社岩瀬歯科商会と株式会社ウチャマは、ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社に社名変更いたしました

改めまして、私たちはヘンリーシャインジャパンイーストです！

We try best! -for healthy and white teeth-

理事会報告

第1回理事会

日 時 令和5年4月20日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 疾病共済金の支払いについて

(5) 令和4年度県委託事業・補助事業の事業費
確定について

(6) 令和4年度専門学校の自己評価結果報告書
について

(7) 令和4年度専門学校の就職状況について

(8) 日本学校歯科医会理事候補者（関東地区）
の推薦について

(9) 八千代町医療福祉費支給制度（町単独事業
分）の対象者の拡大について

(10) 第82回日本公衆衛生学会総会の開催につい
て

(11) 令和5年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動
の後援について

(12) 令和5年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援
募金運動の協賛について

(13) 各委員会報告について

広報委員会、地域保健委員会、介護保険委
員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専
門学校

(14) その他

・医療事故の再発防止に向けた提言〔第17
号〕

・8020いつまでも、元気に美味しく食べる
ための健康情報誌

5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

(2) 第172回定時代議員会の開催（案）につい
て

(3) 令和5年度表彰事業について

(4) サーバイメーター整備の経緯とリースの状
況について

(5) 令和5年度厚生労働科学研究（労働安全衛
生総合研究事業）の協力依頼について

(6) その他

【今後の行事予定について】

5月18日（木）

14時から 業務会計監査

16時から 第2回理事会

6月8日（木）

16時から 第3回理事会

6月22日（木）

14時から 第172回定時代議員会

代議員会終了後 第4回理事会

会務日誌

- 4月20日 第1回広報委員会を開催。会報5月号の校正・編集作業及び未達原稿の確認、今後の表紙写真（会員投稿）についてのスケジュール、会報執筆者への謝礼リストの確認、レディースコーナーについて協議を行った。
- 出席者 柴岡広報部長ほか5名
- 4月20日 第1回理事会を開催。入会申込みの受理、第172回定時代議員会の開催（案）、令和5年度表彰事業、令和5年度厚生労働科学研究（労働安全衛生総合研究事業）の協力依頼について協議を行った。
- 出席者 榊会長ほか17名
- 4月23日 医療安全管理研修会を開催。「抜歯における偶発症の対策と対応」の演題で日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座主任教授の里見貴史先生が講演された。
- 受講者 72名
- 4月23日 第1回医療管理委員会を開催。復職支援講習会、スタッフセミナーについて協議を行った。
- 出席者 中井医療管理部長ほか8名
- 4月25日 第1回学術委員会をWEB会議として開催。第31巻茨城県歯科医学会誌の校正、令和5年度生涯研修セミナー、学術シンポジウム、栃木県歯科医学会、第32回茨城県歯科医学会、有病者スキルアップセミナー、がん医科歯科連携講習会について協議を行った。
- 出席者 鶴屋副会長ほか11名
- 4月27日 地域包括ケア推進センター第8回連携会議がWEB会議として開催された。「入退院支援連携について～茨城県入退院支援連携ガイドラインを踏まえて～」の演題で在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィスの宇都宮宏子先生が講演された後、意見交換を行った。
- 出席者 小野寺常務
- 5月10日 令和5年度生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会がWEB会議として開催され、二題の講義の後、実践発表、質疑応答が行われた。
- 出席者 柴崎理事
- 5月10日 第2回社保正副委員長会議を開催。第2回委員会、審査、理事会、疑義、医療情報・システム基盤整備体制充実加算、「保険部だより」について協議を行った。
- 出席者 大野社会保険部長ほか2名
- 5月10日 第2回社会保険委員会を開催。疑義、医療情報・システム基盤整備体制充実加算、「保険部だより」について協議を行った。
- 出席者 大野社会保険部長ほか19名
- 5月10日 四師会懇談会が本年度は県薬剤師会の当番にて水戸市内において開催された。
- 出席者 榊会長ほか3名

- 5月11日 第1回講師会を開催（WEB参加も可能）。単位未修得者の単位認定について協議を行った。
- 出席者 大字校長ほか24名（内WEB参加8名）
- 5月11日 第1回学校運営委員会を開催。国家試験結果、新入生、次年度入試日程、オープンキャンパス、体験入学日程等について報告を行った。
- 出席者 榊学校運営委員長ほか11名
- 5月14日 県議会議長石井邦一氏の就任祝賀会が水戸プラザホテルにて開催された。
- 出席者 榊会長
- 5月14日 第59回いばらき看護の祭典がザ・ヒロサワ・シティ会館にて行われた。
- 出席者 榊会長
- 5月17日 令和5年度茨城県学校保健会理事会が県メディカルセンターにて開催され、令和4年度事業報告並びに決算報告ほかについて協議が行われた。
- 出席者 榊学校保健会副会長ほか3名



書評

気づく、備える、つなげる！ MCI・400万人対象 認知症グレーゾーンの歯科診療と地域連携Q&A

【著】黒澤俊夫（黒澤歯科医院）

【監修】工藤純夫（日立さくらクリニック院長／認知症サポート医）

発行 日本歯科新聞社／B5判／144p

2023年5月26日初版／6000円＋税

厚労省の新オレンジプランによるとわが国の認知症高齢者の数は、2012年で462万人（高齢者人口の15%）と推計されており、2025年には約700万人（同20%）となり65歳以上の高齢者の約5人に1人に達することが見込まれています。

この点は、私ども茨城県歯科医師会員の日々の診療におきましても重要な問題となります。

本書は今年の第31回茨城県歯科医学会の一般口演において、【認知症サポート医】との連携から学んだ、認知症の早期対応に果たす「かかりつけ歯科医院」の役割】の演題にて発表頂いた黒澤俊夫先生（日立歯科医師会）が、多くの先生方に「軽度認知障害（MCI）＝認知症グレーゾーン」を知っていただくこと、患者さん、ご家族へ認知症の正しい知識を歯科医療のサイドから発信すること、かかりつけ歯科医院で、認知症の早期発見、早期対応ができることなどを著しています。そして、これまでに集積した医科歯科連携を基盤に、認知症という新たなステージに臨むことによって社会貢献できること、さらに茨城県から認知症グレーゾーンの医科歯科連携を発信できれば、患者さん本人、ご家族に福音をもたらし、健康寿命延伸など、社会に果たす役割は大きいのではないかと考えられています。

患者さんの認知機能に不安を感じたとき、どう対処？

国内に400万人以上と推計されている「軽度認知障害（MCI）＝認知症グレーゾーン」。「この患者さんもひょっとして？」と思ったときに、認知症の基礎知識から、歯科での留意点、地域連携まで、現場の「？」に答えてくれる本です。

CONTENTS

1. そうなんだ！ 認知症の実態
2. 診療の同意と配慮
3. 認知機能低下のチェック法
4. 気づきと伝達（本人、家族、医師他）

定価 6,600円
(本体 6,000円＋税)
B5判/144p

著 黒澤俊夫 (歯科医)

監修 工藤純夫 (認知症サポート医)

ご注文は お出入りの歯科医院、シエン社、日本歯科新聞社（オンラインストア）からご注文いただけます。
日本歯科新聞社 東京都千代田区神田三崎町2-15-2
TEL 03-3234-2475 / FAX 03-3234-2477

日本歯科新聞社
オンラインストア



超高齢社会における「かかりつけ歯科医」の新たな役割として会員の先生方に手に取って頂きたいと思います。

（学術担当常務理事 今湊良証）

「最期までその人らしさを叶えるための 口腔ケアを目指して」を拝聴して

(社)茨城県つくば歯科医師会 大河原 純也

令和5年2月26日に日本大学松戸歯学部の遠藤眞美先生をお招きして、「最期までその人らしさを叶えるための口腔ケアを目指して」というタイトルで、人生の最期まで我々歯科医師が関わる重要性についてご講演が行われた。

遠藤先生は障害者歯科学講座に在籍されているが、一般歯科、摂食・嚥下、ドライマウス、漢方外来、訪問診療など、様々な分野で幅広く活躍され、とても注目されている先生である。

まず、歯科治療と認知症の関係について様々なデータや臨床例を提示して説明された。この中で、患者の歯を残して8020を達成することや噛みやすい義歯を作ることだけが認知症予防になるのではなく、我々歯科医師が自立を促す生活支援によって日常生活を充実させ、生きる活力のきっかけを作ることが必要とのこと。つまり患者本人が、「自分で何かをしたいと思える環境」を作ることが重要である。高齢者にとって家族が訪問することやテレビを見るよりも、食事をすることが1番の楽しみだという。食事は栄養補給をするだけでなく、食事を通してコミュニケーションを図り、さらに食事を作ってくれた方に感謝することで間接的にコミュニケーションをとる行為であり、他者との関わりの中で人間らしさを感じ、人生を充実させるための場であることを学んだ。

次に終末期医療についての臨床例を多数提示して説明していただいた。食事は自分らしく生き、



自分らしい死を迎えることにつながり、人が生きる証しとなる。したがって口腔機能への支援は、生活そのものの支援であり、死にゆく方に無条件に関わることができ、我々歯科医療従事者が果たす役割は非常に大きいと思われた。特に反抗的な患者が歯科治療を通じて笑顔でコミュニケーションできるようになった症例は印象的であった。我々は噛みやすい義歯を作るだけでなく、コミュニケーションを図ることで患者の背景を理解し、さらに口腔乾燥症、口腔・全身的な筋機能訓練を含めた、個々の患者に応じたオーダーメイドの治療計画を立案することが重要であることが理解できた。

次に遠藤先生は胃瘻患者を提示して、高齢者の医療及びケアにおいては、苦痛の緩和とQOLの維持・向上において最大限の配慮がなされるべきで、「生きていること」に意味のあるケアをする必要があるという日本老年医学会の立場表明を紹介され

た。改めて、終末期医療では不要な治療を終了して看取ることも重要であることを学んだ。

最後に、「私の考える要介護者への口腔ケアや食事支援」として、食べる、話す、笑顔といった口腔機能を通して患者自身が口腔の大切さを意識することで生きている証しを実感し、「人らしさ」を実現することという言葉は、遠藤先生を象徴した言葉であった。遠藤先生はお話がとても上手で、多方面に渡って様々な知識を持っており、とても引き出しが多い先生であると感じた。臨床例を多く提示していただいたこともあり、あっという間の2時間であった。これまで患者の死に関わる機会が少なかった一般開業医の私にとって、患者に対する心構えを改めて学び直す良い機会となった。



医療+管理 委員会 だより

医療安全管理研修会報告

『抜歯における偶発症の対策と対応』

講師 日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座

主任教授 里見貴史 先生

医療管理委員 渡辺 伸哉

令和5年4月23日（日）午前10時より、茨城県歯科医師会館3階講堂において、本年度の医療安全管理研修会が開催されました。

72名の先生方が参加され、コロナ禍は落ち着きつつある状況で1、2割の方々はマスクを外しての来場となっていました。

本講義は『医療安全管理指針』に沿った外部講習会として、『歯科外来診療環境体制の施設基準届け出』に必要な講習会（偶発症に対する緊急時の対応）（医療事故対策等の医療安全対策）についての内容を含んで行われました。

今回の講義の内容は抜歯における偶発症、合併症の対策と対応についてでありましたが、我々の一般診療の中でも抜歯は最も頻繁に行われる外科処置の一つであり、その偶発症には、誤嚥、誤飲、軟組織の損傷、異常出血、上顎洞への交通、迷入、気腫、神経損傷、顎骨骨髓炎などが挙げられます。

基本的には先生方においては、対応策等をご存じのことと思いますが、基本を振り返るためにも配られた資料をもとに講義の内容を振り返ってみたいと思います。

まず偶発症の最重要事項は予防であり、想定される問題点を術前に把握し、適切なインフォームドコンセントを行うことが大切である。



以下主な偶発症、合併症についてそれぞれ見ていきます。

1) 誤飲・誤嚥のポイント

○予防

- ・吸引操作を確実に行う。患者の病状や嚥下機能等を把握する（水平位での診療は誤嚥を起こしやすい）
- ・脱落しやすい補綴物等は積極的に除去する

○対応

- ・咽頭部に異物が入った時には、すぐに患者の頭を横に向ける
- ・口腔内で破折したものがあるときには、すぐに破折片の所在を確認する
- ・必ずX線撮影を行い、内科医師の診断を受け、困難ではあるが最終排出まで確認して、診療録に記録する
- ・義歯床等金属製でないものは誤飲等を起こした時のX線での位置確認が困難であり、数日間の症状確認を行わなければ体調が急変するケースがあるので注意が必要である

2) 迷入のポイント

○予防

- ・術前に画像で歯根の状態を確認しておく。特に3D画像での状況確認が有効である。特に下顎の智歯の歯根が下顎骨の舌側に突出していることもある
- ・慎重かつ丁寧な愛護的な操作をこころがける

○対応

- ・摘出時に極力広い視野が確保しやすい方法を採用する
- ・自分の技量で処置が可能かの判断を的確に行う
- ・他院に要請する時はなるべく普段から連携のとれている病院にして、状況を極力共有するように努める

3) 気腫のポイント

○予防

- ・5倍速コントラを使用する

○対応

- ・抗菌薬の投薬を行い、症状経過の説明をしっかりと行う

4) 出血

○予防

- ・周辺軟組織の状況をしっかり把握した上で処置を行う

○対応

- ・基本は圧迫止血であるが、薬剤やシーネを使うなどの適切な方法を迅速に判断する

5) 神経障害

○予防

- ・周辺神経の走行状況をしっかり把握する
特に下顎智歯と下顎管の位置関係、術野確保時の舌神経の位置関係に注意を要する。下顎管はX線所見でも位置関係が把握しやすいが、舌神経は解剖学的な状況をしっかり把握しておく必要がある
- ・迷入に対する注意と共通で、3D画像での状況確認が有効である
- ・慎重かつ丁寧な愛護的な操作をこころがける。
特に舌神経損傷は味覚障害を伴うことが多いので、訴訟問題に発展しやすいので細心の注意を払う。
- ・下顎智歯においては二回法を採用するなどの手技の選択を柔軟に行う

○対応

- ・術前の発生の可能性を含めたインフォームドコンセントをしっかりと行う
- ・薬物療法
副腎皮質ステロイド剤（エビデンスの強さC 以下カッコ内がエビデンスの強さ）
ビタミンB12（B）
ATP製剤もあるが保険適応にならない（D）
- ・理学療法

温電法

マッサージ

ソフトレーザー (B)

星状神経節ブロック (C)

- ・完全切断時には早期の外科処置 (B) を検討する

しかしこれらは全てエビデンスの強さがAのものがないなど決定的な方法にはならず、予防が最良の対応になる。

5) 顎骨骨髓炎、壊死

○予防

- ・問診等で過去の既往歴や薬剤投与量などを把握しておく

経口BP症例におけるONJ発生率は4年以上でハイリスクとなる

累積投与量が発生リスクに関係あるとされるBRONJよりもDRONJの方が発生しやすいが治癒もしやすい傾向にあると思われる

- ・口腔内所見の確認

歯肉の発赤、瘻孔の有無、排膿、知覚麻痺の有無、顎骨炎の有無の確認

- ・抜歯前には骨髓炎を起こしているケースからの壊死等の発現が疑われることがある。しかし、X線所見のみでの顎骨炎有無の確認は困難であり、CTやMRIでの確認が必要であろう。

- ・術前の口腔衛生管理は必須であり、術前の抗菌薬の投与も有効である

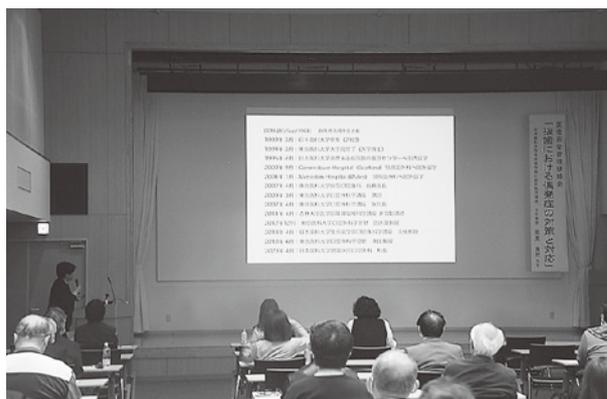
- ・術後は粘膜弁での完全閉鎖が理想である

- ・シダキュア舌下錠投与中の患者さんの場合は抜歯窩に直接薬剤が入らないよう注意する

○対応

- ・患部の清掃消毒、可能であれば休薬してもらう。
- ・症状が重い症例には外科的療法も考慮する

以上が講義内容の要約になります。



里見先生は日本歯科大学をご卒業の後、長く東京医科大学でご活躍され、2018年から日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座主任教授にされて、2018年からは東京医科大学口腔外科学分野兼任教授にも就任されるなど、診療や後進の指導に大変ご多忙の中、今回の講師を快く引き受けてくださいましたことに、厚くお礼を申し上げます。



【スポーツ大会】 歯科衛生士科

5月2日（火）に内原ヘルスパーク（水戸市）において歯科衛生士科のスポーツ大会を開催しました。2年生のスポーツ大会委員を中心に企画・運営されました。

コロナ禍の影響から春のスポーツ大会は4年ぶりの開催となり、さらに1年生にとっては、初めての全学年揃っての行事となりました。

学生全体を6チームに分けトーナメント戦によりドッジボールを行いました。意欲的にボールを



投げ合う学生が多く、ラリーになると応援に熱が入り、会場全体が盛り上がりを見せました。

今回のスポーツ大会はチーム編成を学年混合の縦割り班で行いましたが、初めはお互いに遠慮がちだったものの、競技が進むにつれて団結力が生まれ、学年を越えて親睦を深めることが出来ました。



優勝チーム

普段の学校生活では見ることのできない学生の新たな一面を垣間見ることができ、貴重な時間を学生、専任教員共々過ごすことができました。このスポーツ大会をきっかけに学生同士の絆が深まることを願っています。

（文責 菊池）

【スポーツ大会】 歯科技工士科

5月12日（金）、水戸市のグリーンボウルにて歯科技工士科の学生主催によるボウリング大会が行われ、1学年4名、2学年4名、専任教員4名が参加しました。

個人1位と、団体1位には豪華景品!?が授与されるということで、張り切って臨む学生の姿が見受けられました。

普段は授業が忙しく、学年間の交流があまりない中で、この日はスポーツをしながら楽しく会話もでき、ストライクやスペアが出る度に皆で盛り上がっていました。ゲームが終わるころには、先輩後輩もお互い打ち解けて、親睦を深められたようです。

あっという間の時間でしたが、授業から解放され、楽しいひとときを過ごせました。体と心を少しリフレッシュできたので、また新たな気持ちで授業に取り組めるのではないかと思います。

（文責 渡辺）



ゲームスタート！



ゲーム後に全員で記念撮影

有限会社 **アイ・デー・エス** は、
各種保険の代理店・集金業務
を行っております。

〈損害保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社
東京海上日動火災保険株式会社

〈生命保険会社〉

SOMPOひまわり生命保険株式会社
朝日生命保険相互会社
日本生命保険相互会社
大樹生命保険株式会社
明治安田生命保険相互会社
住友生命保険相互会社
第一生命保険株式会社
アフラック生命保険株式会社
三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〈取扱保険商品〉

医師賠償責任保険
サイバー保険
クレーム対応費用保険
所得補償保険
長期障害所得補償保険
家族傷害保険
デンタルファミリー傷害保険
ゴルフアー保険
自動車保険
火災保険
グループ保険（団体定期保険）
小規模企業共済

新規加入、増額変更、何なりとご用命ください。

有限会社 アイ・デー・エス

代表取締役 榊 正幸

水戸市見和2丁目292番地の1 茨城県歯科医師会館内 Tel:029-254-2826

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社)水戸市歯科医師会 加藤 毅

会 員 数

令和5年4月30日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	115
珂 北	146 +4
水 戸	158
東西茨城	72
鹿 行	102 -1
土浦石岡	174 ±1
つ く ば	143
県 南	174 +1
県 西	152
西 南	96
準 会 員	10
計	1,342 +4

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員 1,111名
 2種会員 88名
 終身会員 133名
 準会員 10名
 合計 1,342名



Ibaraki Dental Association
公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和5年6月
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進
編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。